

ICER NEWS LETTER

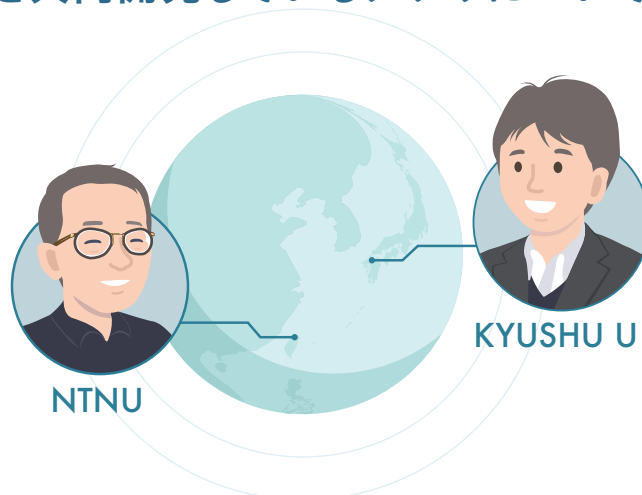
Innovation Center for Educational Resource



REPORT NTNU (国立台湾師範大学) と共同開発しているアプリについて

教材開発センターでは、2020年2月から国立台湾師範大学 (NTNU) の科学教育センターのセンター長である Chun-Yen Chang 教授のグループと、e-ラーニング教材の共同開発プロジェクトを進めています。本プロジェクトでは、これまでに各センターで開発してきた教育用システムや教育用シリアスゲームを、互いの国で利用可能とするローカライゼーションを行ってきました。本稿では、その中からいくつかのシリアスゲームをご紹介します。Web上で体験可能なものもありますので、皆さまもぜひご体験ください。

- サイキンハザード https://www.icer.kyushu-u.ac.jp/download_app
- エコスイッチ (開発中URL) <http://contsrvc.icer.kyushu-u.ac.jp/web/ECOSwitchNew/>



NTNU開発

Water Ark

日本語版
ローカライゼーション中

近年の気候変動に伴い、水資源とその調整策への関心が高まっています。NTNUが開発したWater Arkは、水資源を行政、農業、工業等に適切に分配して資産を増やすことを目的とした、複数人で遊ぶ形式のweb上のボードゲームです。楽しみながら水資源の重要性を学ぶことができます。



教材開発センター × 学生 共同開発

サイキンハザード

英語版・中国語(繁体字)版
ローカライゼーション中

細菌学を楽しく学ぶために、本学の複数学部の学生たちと共同開発したシリアスゲームです。ゲームでは、細菌に感染した患者の病状からその細菌を予測して、それに適した治療を施すことでポイントが得られ、ゴールを目指します。現在、日本語版が上記のURLから体験可能です。



教材開発センター × 決断科学大学院 共同開発

エコスイッチ(EcoSwitch)

中国語(繁体字)版
ローカライゼーション中

電力消費と二酸化炭素排出の削減の関係について、3Dモデルで作成された家庭での電気関連のスイッチをオンオフしながら学べる、決断科学大学院の池田准教授のグループと共同開発したシリアスゲームです。小学生でも楽しく学べるシリアスゲームとして作成されています。現在、日本語版、英語版、中国語(繁体字)版を上記のURLから体験可能です。

※ただし、開発中のため、今後変更の可能性があります



ICER活動報告 最終講義を撮影しませんか？

教材開発センターでは、毎年、最終講義の撮影・公開を行っています。本年はコロナ禍ということで通常の撮影に加えて、ライブ配信や会場内にご視聴中の皆さまの声を流すことも対応可能です。最終講義は、通常の授業とは異なり、一回の講義に先生のこれまでの研究が濃縮された内容になります。そのため、最終講義の動画は九州大学で、どのような研究が行われて

いるのかを広く知って頂くための貴重なコンテンツとなります。ご退官される先生にとっても、九州大学での研究・教育活動の集大成の記録としてご活用いただければ幸いです。また、九州大学の公式YouTubeで公開し、広く一般の方にご覧になって頂くことも可能です。本年度ご退官の先生、あるいは、お近くにご退官の先生がいらっしゃる皆様、最終講義の撮影・公開は、是非教材開発センターまでご相談ください。



島谷幸宏教授



野口博司教授



柿本浩一教授

連絡先 ※ライブ配信は、早めのご依頼をお願いいたします

☎(内線)90-6107 担当 芳賀、竹原、山崎 ✉ video@icer.kyushu-u.ac.jp



※収録映像はDVDとしてお渡しできます

全学FD 「電子教材著作権講習会」「電子教材開発者向け講習会」をオンライン開催します

電子教材著作権講習会

「電子教材著作権講習会」では、講義映像や資料等をWeb上で公開しようとするときに、他人の著作物が含まれていると、利用するための使用許諾申請が必要となる場合があります。これら公開資料を作成するときの問題点や必要事項について、ガイドライン等に基づき、分かり易く解説します。また、H30年5月に成立しました「著作権法の一部を改正する法律」により施行されました「授業目的公衆送信補償金制度」の内容等も含めてご説明いたします。

12/10 金
10:30~12:00

<https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/165>
FDポータルサイトよりお申込み下さい

電子教材開発者向け講習会

「電子教材開発者向け講習会」では、講義等ビデオ教材の活用状況や授業実践、ICT活用電子副教材の開発事例等の実施部隊である教材開発センターの取組について、ご説明・ご紹介します。主な内容は、教材開発センターの主要な活動である「講義等ビデオ教材の撮影・編集・公開」と「3次元CG等高度ICT活用電子副教材の開発」です。教育の質を改善するために電子教材の活用をお考えの教職員、学生の皆様のご参加をお待ちしています。

12/10 金
13:30~15:00

<https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/166>
FDポータルサイトよりお申込み下さい

連絡先

☎(内線)90-6108 担当 山内 ✉ tokyozai@jimu.kyushu-u.ac.jp

f <https://www.facebook.com/KyushuUniversityICER>

t https://twitter.com/ICER_KyushuUniv

g <https://www.icer.kyushu-u.ac.jp>

✉ info@icer.kyushu-u.ac.jp

📄 バックナンバーを公開しています
<https://www.icer.kyushu-u.ac.jp/pr>



ICER Innovation Center for Educational Resource
K Y U S H U U N I V E R S I T Y

編集・発行：九州大学附属図書館付設教材開発センター
Copyright (C) Innovation Center for Educational Resources All rights reserved.